

江口 暁子

三重大学大学院医学系研究科
講師（研究担当）

遠隔臓器間の病態伝播を担う内在性微粒子 microparticle の機能解明

§ 1. 研究成果の概要

肝疾患においてサルコペニア合併患者は予後不良であることや、肝硬変で肝性脳症を合併することが知られていますが、分子メカニズムの全容は不明です。そこで慢性肝疾患マウスを用いて慢性肝疾患において遠隔臓器に合併症が起こる分子メカニズムを明らかにすることを目標とします。本年度は、慢性肝疾患マウスの肝臓が受ける障害を培養化で模倣した系として、培養肝細胞に脂肪毒性を付加し障害を受けた肝細胞から微粒子を回収する系を構築しました。さらにこの微粒子は、遠隔臓器内に存在する細胞を活性化する可能性を見出しました。

